

回
覧

まるくばか



ジュニアリーダー研修

開成町青少年指導員連絡協議会

会長 佐藤 勝彦

日頃より青少年指導員の活動にご支援、ご協力いただき、心より感謝申し上げます。

さて、令和2年より世界的に大流行した新型コロナウイルスの感染拡大が令和3年も続き、2年続けて地域活動、学校行事にも中止や変更が余儀なくされました。

私たち青少年指導員の活動も、例年行っているあじさいまつりでの手づくり広場、ジュニアリーダーサマーキャンプが中止となりました。今年も全ての行事が中止になるかと心配されましたが、秋になりコロナウイルスの感染状況が落ち着いて来たこともあり、ジュニアリーダー研修を2年ぶりに開催することができました。

開催にあたっては子どもたちへの感染リスクを考慮して屋外での活動とし、できる限り密にならないように細心の注意を払い行うことにしました。雨天の場合は中止を考えましたが、当日は暖かな晴天で、天気も味方してくれているように感じられました。多くの子どもたちが参加してくれて、素敵な笑顔を見ることができ、指導員一同最高の1日となりました。

また、今年度も開成子どもゆめパーク主催の行事に2回参加させていただきました。以前のように行事ができるか分かりませんが、その時の状況に応じて、可能な限り子どもたちと体験活動ができる機会を作っていきたいと考えています。

今後とも青少年指導員活動に一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

ジュニアリーダー研修

コロナ禍のため、例年開催されている行事が相次いで中止となりましたが、11月13日(土)、2年ぶりにジュニアリーダー研修を開催することができました。

当日は雲ひとつない晴天のもと、町内在住の小学4年生から6年生の30人が参加し、金井島緑陰自由運動広場や瀬戸屋敷などで有意義な時間を過ごしました。

午前中は2班に分かれ、片方の班は、瀬戸屋敷にてナタを使つての薪割り、かまどでの炊飯とおにぎり作り、もう片方の班は、金井島緑陰自由運動広場にて薪割り、焼きいも作りを体験しました。その後2班が交代して、全員同じ体験をしました。

午後は5班に分かれ、みんなが自分で作ったおにぎりを持って、ミステリーラリー(町内散策)へ出発です。みんな協力し、司令に従つて町内のチェックポイントを回りまわす。途中ルートを外れて遠回りする班もありましたが、全員が無事ゴールすることができました。



かまどを囲んで開成町のお米の話

きました。その後、焼きいもを食べながら1日の活動を振り返りました。

今回の研修は、普段体験できないナタを使つた薪割りやかまどでの炊飯とおにぎり作り「はるみ」と「キヌヒカリ」のおにぎりの食べ比べ、苦戦しながらも仲間と協力してミッションを達成したミステリーラリーなど、楽しんでいます。

参加者の皆さんには、今回の経験を生かし、子どもたちから頼られるようなジュニアリーダーを目指してほしいです。



おやつの焼きいもも開成町産



ペットボトルボーリングでゲット！



手元に集中して薪割り体験

「みんなで協力した ジュニアリーダー研修」 開成小5年 荒川莉生

今日のジュニアリーダー研修では、かまどご飯をたいたり、おにぎりをつくったり、そして、ミステリーウォークラリーをしました。

かまどご飯をたくのは初めてだったのでとてもいい体けんになりました。そのご飯をたくためのまきわりでも、最初はむずかしかったけどなれると、もつと簡単にわれるようになりました。

そして、ご飯をたいているあいだの時間に、焼きいもの入れ物づくりをしたり、ボーリングをしたりしました。2回で全部たおせたのでとてもうれしかったです。

最後のウォークラリーでは、みんなと協力して、ゴールを目指すことができました。写真ではアイーンのポーズや、みんながジャンプしたりして写真をとりました。きねんの写真として、たくさんとれてよかったです！ウォークラリーのゴールの順は、私たち1ばんは3番目でした。それまで焼いていた焼きいもは、とてもホカホカでおいしそうでした。

今日は1日とても楽しかったです！

「最高の思い出」 開成小6年 中野 蘭

私は、今日の1日で、たくさんの子と友達になれました。知らない子がたくさんいて、不安でした。最初のあいさつゲームですごくきんちようしていました。でも、少し仲が良くなった気がしました。次のまき割りでも、少しお話できました。その後、さつまいもの入れ物や、まき割り、ボーリングで分かれた班の子とは、仲が良くなりました。

そして、おにぎりを作つて、ミステリーウォークラリーで、3班の子とたくさん歩きました。

まず、最初の目的地は、あじさい公園でした。とてもおなかがいっぱいで、くたくただったので、その時に食べたおにぎりは、いつもより100倍おいしかったです。

それから、5つの公園に向かいました。歩いている時、班の子と話していたので、仲が良くなりました。そして、やつとゴールにつきました。ゴールについて、やきいもを食べました。ほかほかで、甘くてとてもおいしかったです。

私はこの1日が、最高に楽しかったです。ジュニアリーダー研修に来て良かったです。たくさんさんの思い出ができました。

手づくり広場 in 金井島緑陰広場



かざぐるまづくり



松ぼっくりの クリスマスツリーづくり



今年度初めての行事は、10月30日(土)、プレイパークで行われた手づくり広場「かざぐるまづくり」でした。例年は初夏の風物詩あじさいまつりに合わせて行いますが、新型コロナの影響で秋の開催となりました。

かざぐるまは、青少年指導員が上手に作るコツなどをアドバイスし、子どもたち自身で作ってもらいます。多くの子どもたちは簡単な4枚羽ではなく、難易度の高い8枚羽に挑戦していました。子どもたちのチャレンジ精神に感心しました。

また、クリスマスに1か月後に控えた11月28日(日)に同じくプレイパークに参加し、自然材の工作「松ぼっくりのクリスマスツリーづくり」を行いました。

松ぼっくりに星型やラメ入りモールなどを貼り付け、デコレーションをします。松ぼっくりだけでも立派な飾りになるのですが、ドングリなども用意し、台座の上にそれらを並べれば、大きさの異なる2つの飾りが揃うことになります。ドングリの表面に家族の似顔絵を描いたりする子どももいて、その発想力には驚かされました。



マジックペンやシールで自由に模様をつけたオリジナルのかざぐるまができました。

ミステリーラリー中のベストショット📷



1班

自分で握った🏆最高!



2班

息をあわせて、ジャンプ!



3班

阿波おどりで、ヤー!!



4班

庚申塔の前で三猿🐒のポーズ



5班

変顔で?アイーン!

青少年指導員研修

猛威を振るっている新型コロナウイルスの影響により、今年度のジュニアリーダーサマーキャンプも中止となりました。そこで今回は活動が制限される中ですが、7月10日(土)、青少年指導員の研修としてキャンプ場などの下見を実施しました。

当日は天気恵まれ、御殿場の青少年交流の家へ向かいました。現地では各施設ウオークラリーのコースを回り、今までの思い出や今後の期待話で盛り上がりしました。

その後、約4キロメートルの道のりを歩き、富士山御胎内清宏園の溶岩隧道の体験です。懐中電灯片手に、一人がやつと通れる洞窟をあちこち頭をぶつけながら進み、出口に到着。最後に、富士山樹空の森で園内の遊具施設を見学し、研修を終えました。

表彰おめでとう！

「神奈川県青少年育成成功労者表彰」
「開成町一般表彰」

「神奈川県青少年育成活動推進者表彰」

佐藤勝彦会長
佐藤勝彦会長

山内英輝さん



テントを見学。
来年度は子どもたちと一緒にキャンプができるといいな♪

夜間パトロール

8月22日(日)、子どもたちにかかわる団体の皆さんと青少年指導員でグループを作り、公園やコンビニ、駅、学校周辺など、子どもたちが集まりやすい場所を中心にパトロールを実施しました。

遅くまで遊んでいる子どもたちへの声掛け、早期帰宅を促します。パトロール終了後は、各グループより報告がありました。各地域の実態把握を行いました。この日は、8人の子どもたちに早く帰宅するように声を掛けました。



パトロール終了後の情報交換

には、さまざまな方々の参加協力をお願いしています。今年度も夜間パトロールを継続し、子どもたちが事故や事件に巻き込まれないよう見守っていきます。

編集後記

今年度もコロナの影響で活動ができず、紙面に掲載することがないのでと心配しましたが、10月以降に手づくり広場とジュニアリーダー研修を開催でき、子どもたちの笑顔に触れることができました。紙面から子どもたちが楽しんでいる様子が伝わったのでしょうか？

来年度も子どもたちの笑顔に出会えるような行事を安全に開催できるよう検討し、子どもたちと一緒に青少年指導員も楽しみながら活動していきますので、よろしく願います。

一声人声

おうち時間を楽しんでいますか？コロナ禍で余儀なくされた外出制限の中、ただ窮屈な思いをしていたのではなく、ちょっと視点を変え「自由」を見つけた人は少なくないのではないのでしょうか。

東京オリンピックが開催され、スポーツの素晴らしさに目覚めたり、今まで時間がなくてできなかったことにチャレンジしたり、家族や友達と遊び楽しんだ経験は子どもたちにとって宝物となったことでしょう。

子どもってものすごい発想が豊かですね。それを知る術は子どもたちが何かに挑戦する時、試しにじっと見守ってみてください。見守ることが大事なのです。自分で考える時間をプレゼントするのです。もちろん危険が及ぶ場合はすぐに適切な指示をし、後は我慢。きらめく才能の開花を目の当たりにするも良し。あつと言う間に成長するさまに感動するも良し。心が温かくなります。

褒め言葉と「ありがとう」を忘れず、子どもたちの笑顔を見られることに感謝し、この先、全ての人が安全で、安心して豊かな毎日を送れますようにと心から願います。

